

かざき くもたろう

風木 雲太郎

* 大正2年10月25日長崎市生まれ
* 平成19年12月23日没(94歳)



○ 略歴

- 昭和10年 大学卒業後、神戸市の松竹座洋画宣伝部に就職
(22歳)
- 昭和15年 長崎の鎮西学院の英語教師となる
(27歳) 火野葦平の推薦で「九州文学」同人となる
- 昭和21年 福岡市の九州書房に勤務し、「九州詩人」などを編集
(33歳)
- 昭和24年 上村肇らと詩誌「岬」を創刊
(36歳)
- 昭和26年 第一詩集「紫の笛」を刊行
(38歳)
- 長崎県詩人会会長を務めた

○ 主な受賞歴

- 昭和22年 九州詩人賞 「裸木」ほか
- 昭和32年 長崎県民表彰
- 平成8年 日本先達詩人顕彰

○ その他の代表作

長崎詩篇(昭30)、ビードロの歌(昭41)、たこつぼの花(昭50)
随想集 わが星の道(昭60)、レトロの旅(昭62)、長崎暮色(平5)